

千葉県保健医療計画（試案）の概要

第1章 改定に当たっての基本方針

～ 計画の基本理念 ～

県民一人ひとりが、健やかに地域で暮らし、心豊かに長寿を全うできる
総合的な保健医療福祉システムづくり

●計画の性格

- ・ 医療法第30条の4の規定による法定計画
- ・ 県の保健医療に関して総合的・効果的に推進するための基本的な指針

●基本的施策の方向性

- (1) 質の高い保健医療提供体制の構築
- (2) 総合的な健康づくりの推進
- (3) 保健・医療・福祉の連携確保
- (4) 安全と生活を守る環境づくり



●計画期間

令和6年度～令和11年度（6年間）

※在宅医療、医師の確保及び外来医療に関する事項は
令和8年度に中間見直し予定。

改定の趣旨

●背景

- ・ 本県において、高齢者人口の増加や生産年齢人口の減少が続く中、超高齢社会に対応した保健医療提供体制の充実が緊急の課題となっています。
- ・ 今般の新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地域医療における入院・外来・在宅にわたる医療機能の分化・強化、連携等を行う重要性等を改めて認識したところです。

●改定のポイント

ポイント1

- 今後の人口構造や医療需要の変化を踏まえて、疾病事業ごとの医療提供体制の構築、地域医療構想の推進、医療従事者の確保等の取組について対応を図ります。

ポイント2

- 新型コロナへの対応を踏まえ、新たな記載事項として「新興感染症発生・まん延時における医療」を千葉県感染症予防計画と整合を図り、追加しました。

ポイント3

- その他、新規事項として、「慢性閉塞性肺疾患（COPD）・慢性腎臓病（CKD）対策」、「外国人患者への医療」、「医療分野のデジタル化」を盛り込みました。

⇒県民が住み慣れた地域で安心して生活できるよう、持続可能で質の高い保健医療提供体制の確保を図ります。

第5章 質の高い保健医療提供体制の構築（5疾病）

● 5疾病における主な施策の具体的展開

がん

- ・がん予防の普及・啓発
- ・がん検診の受診率向上と精度管理
- ・拠点病院等を中心とした医療連携
- ・がんと診断された時からの緩和ケアの推進
- ・小児がんおよびAYA世代のがん対策
- ・相談、情報提供、患者の生活支援 等

脳卒中

- ・生活習慣と脳卒中の関係についての周知
- ・特定健診・特定保健指導による予防対策の推進
- ・脳卒中発症時の対応に関する啓発
- ・急性期及びリハビリ支援体制の整備
- ・多職種連携、医療・介護連携の促進

心筋梗塞等の心血管疾患

- ・生活習慣と心血管疾患の関係の周知
- ・特定健診・特定保健指導による予防対策の推進
- ・応急処置に関する知識・技術の普及
- ・急性期及びリハビリ支援体制の整備
- ・多職種連携、医療・介護連携の促進

糖尿病

- ・生活習慣と糖尿病の関係についての周知
- ・特定健診・特定保健指導による生活習慣病予防対策の推進
- ・重症化予防に向けた取組の支援
- ・他疾患で治療中の患者の血糖管理を適切に実施する体制の整備

精神疾患

- ・相談支援窓口の周知と機能の充実
 - ・発症から精神科受診までの時間の短縮化
 - ・早期退院への支援
 - ・地域生活の継続のための支援
 - ・多様な精神疾患等に対応できる医療連携体制の構築
- 【認知症】**
- ・認知症に対する正しい理解の普及・啓発とやさしいまちづくりの推進
 - ・認知症予防の推進
 - ・早期診断と適切な医療・介護連携体制の整備、多職種協働の推進
 - ・人材の養成、認知症の人やその家族への支援
 - ・若年性認知症施策の推進